

ふるさとを守る。



都市住民



『とちぎ夢大地応援団活動』

農山村地域では、過疎化や高齢化が進み、農地を守ることや地域の伝統文化等を伝えていくことが年々難しくなっています。とちぎ夢大地応援団は、様々な人の交流や協働活動を通じて、農山村地域の活性化や地域資源を守り「ふるさと柿木」を次世代に伝えていくことを目的に活動しています。

茂木町 河又地区

茂木町河又地区では農村レストラン「虹色の里あじ彩」を拠点に都市住民との交流を行っています。今回は「里山散策のための丸太階段と橋づくり」を行いました。農業体験等で河又を訪れる保育園児が安全に里山を散策できるように、急な斜面に丸太階段を設置したり、水路を渡るための橋をつくりました。園児達の喜ぶ姿を見るのが待ち遠しいです。

那須烏山市 国見地区

「国見の棚田は日本の原風景。しかし、高齢化が進み維持するのが困難になってきている。たくさんのボランティアの皆様が参加して頂き大変ありがたく思っている。」大谷那須烏山市市長の歓迎の挨拶のあと、棚田周りの急傾斜斜面の草刈を行いました。通常の作業より労力が必要となりますが、日本の棚田100選にも指定されている国見の棚田を守るため、参加者一丸となって作業を行い、美しい棚田が現れました。



『企業連携活動』

栃木市 大柿地区

栃木市大柿地区において、テクセリアルズ㈱の皆様が参加し、夢大地応援団活動を実施しました。

大柿地区では美しい里山を快適に都市住民の方に散策して頂けるよう土の遊歩道にチップをまく作業と清掃作業を行いました。参加した企業の方は「今後も里山整備のお手伝いを続けていきたい」と話していました。



栃木市 大柿地区 「遊歩道へのチップ敷設と清掃活動」